

# 行政事業レビューシートの 品質確保に関する取組について

令和 5 年 9 月 2 9 日  
法務省大臣官房秘書課

# 法務省における取組① -行政事業レビューシートの品質確保に関するもの-

対象事業数50、うち重点フォローアップ対象事業 2

- 最初に、管理職において新しい取組を十分に把握すべきという観点から、省内の総務課長会議において、E B P M推進部局が行うことができる支援をアナウンス
- 行政事業レビューシートの作成に先立ち、知識の共有を図るという観点から、省内説明会において、見直しの趣旨及びロジックモデルの作成を説明
- 個別打合せの実施

＜政策評価部局が行うことができる支援＞

- ✓ E B P Mアドバイザー（※）の活用
  - ✓ 効果検証、データ分析、アンケート調査などの相談
  - ✓ 総務省の実証的共同研究を紹介（法務省でも令和4年度に利用実績あり）
- ※ E B P Mアドバイザーとは、データ利活用・分析に関する知見・実績を有する職員（非常勤）

＜省内説明会＞

- ✓ 新任担当者を中心に100人近くが参加
- ✓ 行政事業レビューシートの見直しの趣旨、ロジックモデルの作成方法を説明
- ✓ 参加者の担当事業についてロジックモデルの作成を実践

＜個別打合せ＞

- ✓ 行政事業レビューシートの内容について、E B P M推進部局が詳細をフォロー
- ✓ E B P M推進部局からロジックモデルの改善案を提示した議論

# 法務省における取組② -その他EBPMに関するもの-

- **政策立案応援制度**（担当者の悩みを解消することで、新しい様式や評価の仕組みを浸透させる）
- 政策立案総括審議官として、政策評価有識者会議の省内勉強会を企画・実施し、政策実施部局と意見交換を行うなど、EBPMの取組が円滑に進むようバックアップ

## 政策立案応援制度

昨年度は  
**40事業**をサポート

政策立案の過程で生まれる様々な**悩みの解消**をサポートする仕組み

### 壁打ち支援

1時間以内／1回

私たちでよろしければ  
思考の整理を助ける「壁打ち」の相手になります

- ・形になっていないアイデアの深掘りをしたい方
- ・目的、手段のつながりを整理したい方など



### 資料作成サポート

30分+1日／1枚

作りたい資料の概要を伺い  
政策設計図やポンチ絵づくりをお手伝いします

- ・政策設計図やポンチ絵作りにお悩みの方
- ・行政事業レビューシートの作成にお悩みの方
- ・ロジックモデルを勉強したい方



新

R5. 5～

### EBPMアドバイザー（非常勤職員）

民間のコンサルタントが  
ロジックの整理、データ分析・効果検証を実施  
サポートします

- ・効果検証の方法について知りたい方
- ・事業の効果検証をしようとしている方



### 専門家マッチング

1時間以内／1回

計量経済学や統計学の専門家や他省庁の効果検証  
チームを紹介します

- ・効果検証等を行う予算がない方
- ・他省庁の取組を知りたい方



## <見直し前>

- アウトカムとして「訪日外国人旅行者数」を設定

## 問題点

- ✓ 「明日の日本を支える観光ビジョン」（「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」平成28年3月30日）を踏まえたものではあるが、政策実施部局だけで負うことができない目標である
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の状況や他省庁の政策の影響を大きく受けるなど、事業実施による効果との因果関係が小さい
- ✓ 行政事業レビューシート上、従来から取り組んでいる組織目標が表れていない

## 見直しの観点

- ✓ 長期アウトカムを検討する上で改めて「事業の目的は何か」を整理
- ✓ 指標の有無を意識しないゼロベースでのロジック整理
- ✓ 円滑な出入国審査と厳格な出入国管理の両立



## E B P Mに関する専門的な知見

検討に当たっては、行政改革推進本部事務局及び総務省行政評価局による伴走支援の他、E B P Mアドバイザーに助言を求めながら実施

<見直し後>

- 長期アウトカムに「**入国審査待ち時間 20分以内達成率**」を設定
- 出入国審査を円滑に行うための各手段に対応した以下の指標を設定

アウトプット：**イミグレーションアテンダントの配備空海港数** 等

(どの程度配備したか)

短期アウトカム：バイオカート等の**審査円滑化のための設備の利用者数**

(どの程度利用されたか)

※厳格な出入国管理の観点で別途アクティビティを設定（例 特別審理官による口頭審理 等）

改善点

- ✓ 目的や課題・指標が整理され、事業の特性に応じたアウトカム指標等を設定した結果、行政事業レビューシートの品質向上が図られた

区分	試行版	R5レビューシート
アウトプット	✓ 出入国者数	✓ イミグレーションアテンダントの配備空海港数 ※入国審査官の数や顔認証ゲート・バイオカートの設置空海港数等も活動指標である旨を併せて記載
短期アウトカム	✓ 訪日外国人旅行者数	✓ バイオカート等の審査円滑化のための設備の利用者数
長期アウトカム	※設定なし	✓ 入国審査待ち時間 20分以内達成率

【1】目的・現状・課題・手段等の政策の枠組みを整理すること → ある程度浸透

【1】と【2】の間には高いハードルが存在・・・政策立案応援制度を活用する部局・職員にも偏り

- データ分析を実践する機会・経験が不足している
  - ✓ 「データ分析で何が出来るのか／分かるのか」
  - ✓ 「EBPMの取組を進めるためには何が必要なのか（調査設計、データ、分析環境等）」がイメージできない
  - ✓ データ分析に関する悩みが起こらない（困っていない）
  - ✓ 自ら実践したり、専門家に相談するなどの行動が起こらない（起こせない）

【2】エビデンスベースであること

## 今後の課題②

**法務省データ利活用ブートキャンプ**：政策実施部局のデータ利活用の核となる人材の育成を目的としたプログラム

- 本年9月から実施。省内局部課等から参加者を募り、組織単位でチームを構成。
- **EBPMアドバイザーの支援**を受けながら、チームごとに自らテーマを設定し、課題設定からデータ分析までのプロセスを**試行錯誤的に実践する機会**を設ける。

項目	内容
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 自身の業務に関連する行政課題を題材として、<b>EBPMの一連の流れを体験・実践する場</b>を設け、<b>職員の実践力向上</b>に資する取組とする</li><li>✓ 併せて、データ分析実践に伴う内外からのデータ収集や各種統計ソフトウェア（R, Python, SPSS, Excelソルバー等）利用を通じて、今後の省内における<b>EBPMの取組推進に向けた環境づくり</b>の一助にする</li><li>✓ 幹部層に実践内容を評価してもらい、分析結果の報告を受ける幹部のリテラシーも高める</li></ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ <b>EBPM講義</b>：1回（90分）。令和5年度EBPM研修として実施</li><li>✓ <b>キックオフ</b>：1回（2時間）</li><li>✓ <b>全体会</b>：各チームが集まり、進捗等を共有。6回程度（1回2時間程度）</li><li>✓ <b>チームでの作業</b>：適宜開催</li><li>✓ <b>幹部報告会</b>：中間報告（11月頃） / 最終報告（2月）の2回</li></ul>
期間	✓ <b>2023年9月頃～2024年2月頃</b>
対象者	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 局部課等の参加希望者</li><li>✓ 局部課等ごとにチームを編成。<b>3チーム前後</b>、1チーム<b>5名程度</b>を想定。</li></ul>